

令和6年度(2024年度)金沢大学法科大学院 入学試験問題

【C日程】法律専門科目試験

民法 出題の意図

問題1

被相続人の有した金銭債権の共同相続と、債務者・第三者との関係に関する問いである。金銭債務は共同相続人間で相続分に応じて分割されること、指定相続分に応じて分割した場合に対抗要件を要すること、対抗要件の内容を説明することが求められる。

問題2

和解と錯誤に関する問いである。和解により権利関係を決定した以上は、たとえそれが真実の権利関係と異なることが後で判明したとしても、争いを蒸し返すことは許されない(民法696条、和解の確定効)が、和解契約が錯誤に基づく場合には、和解の確定効と錯誤の適用関係が問題となる。和解の趣旨を踏まえて、錯誤の問題か否かを論じた上で、錯誤の要件を満たすかを説明することが求められる。最判昭和33年6月14日民集12巻9号1492号が参考になる。なお、取消しの是非が問われており、和解契約における契約不適合について論じる必要はない。